



下野竜也音楽総監督就任
～広響、新時代～



Hiroshima Symphony Orchestra The 376th Subscription Concert



指揮 秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama

HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

広島交響楽団第376回定期演奏会

2018. 1. 19 金

18:45開演(17:45開場)

Fri Jan 19 2018 Start 18:45 (Open 17:45)

広島文化学園HBGホール

〒730-8787 広島市中区加古町3-3
Hiroshima Bunka Gakuen HBG Hall

《挑戦》秋山和慶 終身名誉指揮者就任記念

ドヴォルザーク

序曲「自然の中で」 Op.91

Dvořák : In Nature's Realm, Overture Op.91

ドヴォルザーク

ピアノ協奏曲ト短調 Op.33

Dvořák : Piano Concerto in G minor Op.33

ルトスワフスキ

管弦楽のための協奏曲

Lutoslawski : Concerto for Orchestra

Concertmaster 佐久間 聡一
Soichi Sakuma

チケット(税込/全席指定)

S席5,200円・A席4,700円・B席4,200円・学生券1,500円(学生券は広響事務局のみで取り扱い)

エディオン広島本店・福屋八丁堀本店プレイガイド・福屋広島駅前店チケットサロン・アルパーク天満屋チケットサロン・

広島アーツ楽器・ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場・ローソンチケット(Lコード:61937)・

チケットぴあ(Pコード:318-939)・中国新聞社読者広報部・中国新聞販売所(取り寄せ)・広響事務局にて販売

チケット発売日


一般プレイガイド 2017年11月19日(日)/広響事務局 2017年11月20日(月)

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子さまのご入場はご遠慮ください。

※開演時間に遅れられた場合、入場に制限がございます。

主 催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社

助 成 /  文化庁文化芸術振興費補助金
(舞台芸術創造活動活性化事業)

プレミアム協賛 /  広島電鉄

後 援 / 広島県、広島市、広島市教育委員会、NHK広島放送局、中国放送、テレビ新広島、
広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、月刊ウェンディ 出版局

お問い合わせ 広響事務局 TEL : 082-532-3080 E-mail : info@hirokyo.or.jp HP : http://hirokyo.or.jp

広響公式ホームページ▲



ピアノ 伊藤 恵

Kei Itoh

©武藤章





〈指揮〉秋山 和慶

Kazuyoshi Akiyama, conductor

1941年生まれ。トロント響副指揮者、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督(現・桂冠指揮者)、シラキュース響音楽監督、東京交響楽団音楽監督／常任指揮者(現・桂冠指揮者)、九州交響楽団ミュージック・アドバイザー／首席指揮者(現・桂冠指揮者)を歴任。サントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪府民劇場賞、大阪芸術賞をはじめ、東京交響楽団とともに毎日芸術賞、京都音楽大賞、モービル音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。2014年文化功労者に選出。同年中国文化賞(広島)、徳島県表彰特別功労賞を受賞。2015年6月、渡邊晴雄音楽基金特別賞を受賞。現在、広島交響楽団終身名誉指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、洗足学園音楽大学教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

秋山和慶 終身名誉指揮者就任記念

《挑戦》

2016年度をもって広響音楽監督・常任指揮者を退任した秋山和慶だが、音楽への情熱は衰えることを知らない。秋山が最も信頼を寄せるピアニスト、伊藤恵と共演するのはドヴォルザークの協奏曲。名作でありながら、実演に接する機会はまたとない曲だ。特に旋律の美しさは随一と言える。協奏曲としての華やかさよりも作曲家の内面に迫る内容から技巧を基盤とする若手にはこの協奏曲は荷が重すぎるのだ。今回は円熟の二人の共演に期待するとともに、伊藤には今後も重要なレパートリーとしてこの曲をもっと世に広めて欲しい。そして、残り2曲も秋山は広響と初めて演奏する作品を選んだ。この姿勢こそが、秋山から下野に向けたメッセージであり、挑戦なのだ。



〈ピアノ〉伊藤 恵

Kei Itoh, Piano

有賀和子氏、ライグラフ氏に師事。83年第32回ミュンヘン国際音楽コンクールで日本人初の優勝。サヴァリツシュ指揮パイエルン国立管と共演し、ミュンヘンでデビュー。その後もミュンヘン・シンフォニカ、フランクフルト放送響、ベルン響、チェコ・フィルの定期公演に出演。日本ではN響と協演をはじめ、各オーケストラとの共演、リサイタル、室内楽、放送と活躍。CDの代表作は、シューマン・ピアノ曲全曲録音「シューマンアーナ1～13」。07年秋には全集完成記念コンサートを行った。08年にリリースを開始した「シューベルト ピアノ作品集1～6」は1作ごとに注目を集め、第6集は15年度レコード・アカデミー賞、第70回文化庁芸術祭賞優秀賞を受賞。最新盤は「ショパン/24の前奏曲、シューマン/クライスレリアーナ」。サイトウ・キネン・フェスティバル松本はじめ武生国際音楽祭などに参加。08年から15年までの新たな8年シリーズではシューベルトを中心としたリサイタルを開催。

93年日本シヨパン協会賞、94年横浜市文化賞奨励賞受賞。現在、東京藝術大学教授、桐朋学園大学特任教授。

©武藤章

広島交響楽団
第377回
定期演奏会

2018

2.9 金

広島文化学園HBGホール
18:45開演(17:45開場)

下野竜也 音楽総監督就任記念シリーズ

三人の会・シューマンに寄すⅢ

芥川 也寸志

交響管弦楽のための音楽

プロコフィエフ

ピアノ協奏曲第3番ハ長調 Op.26

シューマン

交響曲第4番二短調 Op.120



〈指揮〉
下野 竜也



〈ピアノ〉
河村 尚子

©Hirofumi Isaka

あなただけのマイシート!

定期全3公演

2017年度後期定期会員募集のご案内

S席/12,500円 A席/11,500円 B席/10,500円

お申し込みは広響事務局までお電話ください。(受付期間 2017年9月11日～2018年1月18日)